

令和4年4月12日	
所 属	歴史博物館
所属長	伊元 俊幸
電 話	06-6489-9801

尼崎市歴史博物館第5回企画展
「- まだまだ謎だらけ - ここまでわかった富松城」
「地域の宝・富松城跡 - 保存活用の軌跡」を開催します

尼崎市立歴史博物館は年間3回程度、当館が収蔵する博物館資料を活用した企画展を開催しています。

4月23日（土）から開催する第5回企画展では今なお土塁と堀の一部が現存する富松城は平地に残る戦国時代の城館跡としては兵庫県内でも数少ない貴重な遺跡であり、現市域で繰り広げられた戦国時代の戦乱の様相を今に伝えるかけがえのない歴史遺産ですが、築城や廃城の時期、城館の規模や構造など、未解明な点は少なくありません。

今回の企画展では、これまでの文献資料による調査研究と富松城跡及び周辺遺跡での発掘調査等によって得られた成果などから明らかになってきた富松城の姿を、記録や絵図などの歴史資料や出土資料によって紹介します。

あわせて、20年におよび富松城跡を活かしたまちづくり活動を地道に続けてこられた「富松城跡を活かすまちづくり委員会」と尼崎市教育委員会が協働で進めてきた富松城跡を保存し地域資産として活かす様々な取組の様子を写真パネル等で紹介する共催展を展示学習室で開催します。

1 概要

(1) 会期・時間・休館日

「- まだまだ謎だらけ - ここまでわかった富松城」 4月23日（土）～6月19日（日）

「地域の宝・富松城跡 - 保存活用の軌跡」 4月23日（土）～9月4日（日）

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

月曜日休館 ただし、7月18日（月・祝）は開館し、19日（火）が休館

(2) 会場

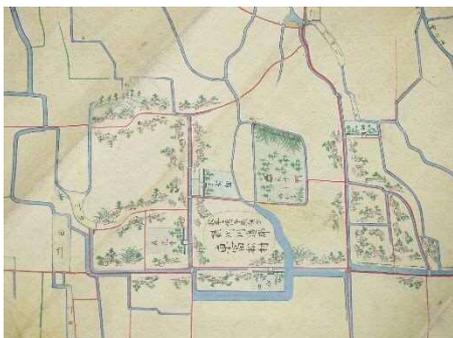
市立歴史博物館 3階 企画展示室 - 「- まだまだ謎だらけ - ここまでわかった富松城」
展示学習室 - 「地域の宝・富松城跡 - 保存活用の軌跡」

所在地：尼崎市南城内10番地の2

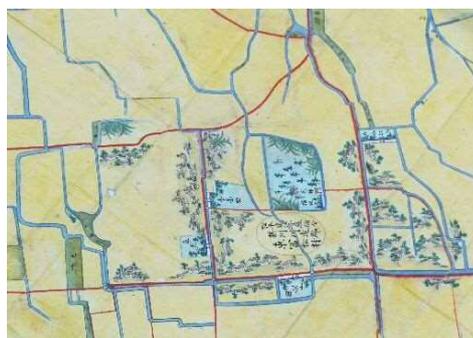
(3) 主な展示資料

① 「- まだまだ謎だらけ - ここまでわかった富松城」

- ・七箇村水論立会絵図
- ・寛政年中水論絵図
- ・東富松村字限地籍集約図
- ・富松城跡土塁測量図
- ・富松城跡・東富松遺跡A・東富松遺跡B発掘調査写真
- ・発掘調査出土遺物：土師器・瓦器・陶磁器・瓦・木製品等 他約50点



七箇村水論立会絵図 (部分)



寛政年中水論絵図 (部分)



富松城跡第3次調査 (堀跡)



東富松遺跡B第20次調査 (堀跡)

② 「地域の宝・富松城跡 - 保存活用の軌跡」

- ・ガイドブック『もっと知りたい中世の富松城と富松』
- ・富松いろはカルタ
- ・堀の清掃 (画像)
- ・富松城跡シンポジウム (画像)
- ・富松城跡まつり (画像) 他約80点 (写真パネル・実物資料)



第1回富松城跡まつり



堀の清掃

(4) 関連事業

・水曜歴史講座

6月8日(水)午後2時から「発掘調査で分かった富松城」をテーマに学芸員による講座を行います。会場は当館3階講座室。定員70名。6月5日から受付開始

・展示解説

展示会場で担当学芸員が主な展示資料の解説を行います。5月1日(日)・5月14日(土)・5月29日(日)・6月18日(土)の4回。時間は午後1時30分から2時30分まで。事前申込不要。

2 担当

歴史博物館 担当学芸員 井上 亮・楞野 (かどの) 一裕

以上

尼崎市立歴史博物館第5回企画展

- まだまだ謎だらけ - ここまでわかった富松城



令和4年(2022)
4月23日(土)~6月19日(日)

開館時間：午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜
会場：歴史博物館 3階 企画展示室
入館料：無料

同時開催
地域の宝・富松城跡 - 保存活用の軌跡
令和4年(2022)4月23日(土)~9月4日(日)
会場：歴史博物館 3階 展示学習室



(平成28年 第1回 富松城跡まつり)



尼崎市立歴史博物館
AMAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY

住所：〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2
電話：06-6489-9801(歴史博物館文化財担当)
FAX：06-6489-9800
電車・バス：阪神尼崎駅から南東へ徒歩10分
自動車：玉江橋線から東へ500m
※隣接する市立城内駐車場(有料)をご利用ください。
ホームページ：
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/



当館では新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。
ご観覧の皆様のご協力をお願いいたします。
また、感染の拡大状況によって、臨時休館や入場制限等を行う場合があります。

尼崎市立歴史博物館第5回企画展

企画展示室

- まだまだ謎だらけ - ここまでわかった富松城

今なお土塁と堀の一部が現存する富松城は平地に残る戦国時代の城館跡としては兵庫県内でも数少ない貴重な遺跡であり、現市域で繰り広げられた戦国時代の戦乱の様相を今に伝えるかけがえのない歴史遺産ですが、築城や廃城の時期、城館の規模や構造など、未解明な点は少なくありません。

今回の企画展では、これまでの文献資料による調査研究と富松城跡及び周辺遺跡での発掘調査等によって得られた成果などから明らかになってきた富松城の姿を、記録や絵図などの歴史資料や出土資料によって紹介します。



「七箇村水論立会絵図」(部分)
(富松神社所蔵 東富松水利組合文書)



「寛政年中水論立会絵図」(部分)
(尼崎市立歴史博物館所蔵 岡治茂夫氏文書)



(富松城跡第3次調査)



(東富松遺跡B第20次調査)

発掘調査で見つかった堀跡

展示解説

日時：令和4年5月1日(日)
(2022)5月14日(土)
5月29日(日)
6月18日(土)
各日：午後1時30分～2時30分
※事前申込不要、直接展示会場へ

水曜歴史講座

演題：発掘調査で分かった富松城
日時：令和4年(2022)6月8日(水)
午後2時から4時
会場：歴史博物館 3階 講座室
申込：6月5日(日)より受付開始
(電話またはFAXで歴史博物館まで)

展示学習室

地域の宝・富松城跡 - 保存活用の軌跡

20年におよび富松城跡を活かしたまちづくり活動を継続して展開中の「富松城跡を活かすまちづくり委員会」と尼崎市教育委員会が協働で進めてきた富松城跡を保存し地域資産として活かす様々な取組の様子を写真パネル等で紹介します。



(富松城堀跡の清掃)